

製本のススメ

Vol. 65

関東も入梅です。紫陽花達は雨も楽しそうに咲き始めました。小さかったカタツムリも、だいぶ大きくなってきました。憂鬱な季節と言われますが、今年は傘を買い換えたので少々雨が楽しみです。

今回も**基本**の話し*5回目*

同じようで、全く違うもの。例えば「二つ折」と言われると用紙を半分に折れば確かに二つ折ですが、折る方向・その用途によって価格が変わります。これは最近よく発生するトラブルの上位にランキングして良いほどです。

製本では【縦と横】【断裁する・しない】では加工上大きな違いがあり、小部数での台数計算以外では単価にも大きな差が出る場合があります。電話で見積り等を依頼する際には指示がない限り**縦本で断裁仕上げ出来る事を前提**にしますので、横長本や仕上げ断裁が出来ない等は明確にしておかないと、製本段階になって納期が足りない・見積りと違うので金額が折り合わない等のトラブルに直結します。

事例 1 二つ折り 1 万枚の依頼があり 1 時間程度で仕上ると電話で話をしたが実際の刷本は横長仕上りであった為 1 時間半以上かかり納期遅れに至った。

解 説 紙折機は刷本がセンサーを通過したのち、次の刷本が排出されます。用紙の長さにより通過時間が変わるので、1 時間の加工量も変わります

事例 2 二つ折り 10 台で無線綴の見積りをしたが、実際には袋折(袋綴じ)であった為に納期もかかり、加工賃も倍以上になってしまった。

解 説 小口が袋なので仕上げ三方断裁ができません、その為全ての製本工程で必要な寸法を先に割り出す等、作業手順が大きく変わり工程数も増えます。むろん短納期では納まりきれず、納期遅れ・金額アップに繋がります。



Tea break

六月の花嫁と言いますが、結婚式に招かれると控え室等でお茶でなく桜湯が振舞われます。お茶のほうが美味しいのにな～と思いますが、お目出度い宴なので「お茶を濁す」に通じるという事で敬遠され、茶碗の中で花が咲き見た目も良い桜湯を出すようになりました。

by (株) 井関製本